

## 歯科医師国家試験の出題形式について

### 歯科医師国家試験の出題形式について

第105回歯科医師国家試験から、平成19年12月にとりまとめられた歯科医師国家試験制度改善検討部会報告書を踏まえ、現在の五肢択一式、択二式及び正解肢数を指定せずを選択させる形式に加えて、新たに以下のような出題形式を取り入れることとしました。

#### 第105回歯科医師国家試験から導入する出題形式(例)

##### ◎計算問題

1歳6か月児歯科健康診査の結果を表に示す。

齲蝕罹患型	O1	O2	A	B	C
人数	12	28	6	3	1

齲蝕有病者率を求めよ。

解答: (1) (2) % (記入例: 20の場合、(1)2 (2)0)

(1) (2)

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

##### ◎多選択肢形式(6以上の選択肢から1つの正解肢を選ぶ問題)

伴性劣性遺伝疾患はどれか1つ選べ。

- a 血友病
- b Down症候群
- c 口唇・口蓋裂
- d 骨形成不全症
- e 色素性乾皮症
- f 神経線維腫症
- g Marfan症候群

照会先

医政局医事課試験免許室

TEL 03-5253-1111(内線2574、2575)